

「スポーツの力」×「東京2020大会」応援企画

世界からのメッセージ

オーストラリア大使館



大使からの挨拶

Dear my friends in Tokyo

日本とオーストラリアは、とても近い友人です。政治、経済、安全保障、人的交流といったあらゆる分野で日豪の関係はとても深いものとなっています。

特に近年、日本で行われる世界的なスポーツイベントは、日本とオーストラリアの交流をさらに活発にしています。スポーツを通じてお互いの価値やつながりを理解し、称えあうこの機会にオーストラリア大使館はスポーツ外交をテーマにした「AUS+RALLY」(オーストラリー)キャンペーンを実施しています。東京都オリンピック・パラリンピック準備局を始め、府中市、武蔵野市、中央区にもご参加頂いています。

更に、世界の注目が日本に集まっている今、オーストラリア・オリンピック委員会主催の「コネクト2021」プログラムに数多くの東京をはじめとする日本の学校が参加して下さっていることをとても嬉しく思います。このプログラムにより、日豪の子供たちがオンラインで交流を図ることができています。

東京2020に向けて、日本政府、そして東京都の皆様の多大なるご尽力に心より敬意を表します。

日本とオーストラリアは両国ともスポーツが大好きなスポーツ大国です。世界中から選手が東京を訪れ、オリンピックの精神の下、競技に参加する姿を見るのを楽しみにしております。

駐日オーストラリア大使
ジャン・アダムズ



日本はオーストラリアにとって「とても身近な外国」

オーストラリアの学校で最も学習されている英語以外の外国語は、何語かご存じですか。実は日本語です。小学校から大学まで約40万人の学習者がおり、人口10万人あたりの日本語学習者の数としては、オーストラリアは世界第1位です。

多くのオーストラリア人が日本語を学んでいる理由は、日本がオーストラリアにとって重要な存在だからです。1980年代から1990年代にかけ、貿易による経済交流が活発だったこともあり、オーストラリアでは日本語学習が奨励されていました。その結果、オーストラリア全土に日本語学習者が急増しました。

オーストラリア人には親日家が多く、日本への旅行を楽しむことや、日本文化への関心がとても高いです。オーストラリア国内でも、和食は多くの人に親しまれています。

現在、日豪の間には101の姉妹都市、6の姉妹県・州があり、交流が活発に行われています。東京都もその一つで、オーストラリアのニュー・サウス・ウェールズ州と1984年に友好都市関係締結以降、教育やスポーツをはじめとする様々な分野での交流・協力を行っています。

日本とオーストラリアは、貿易での経済関係だけではなく、このように人と人の交流が盛んであり、両国の関係の基盤を支えているのです。

オーストラリア人はスポーツが大好き Aussies Love Sports!

スポーツは、オーストラリア人のライフスタイルに欠かせない重要な要素で、人々は年齢や社会的地位を問わず、一緒になってスポーツに参加したり、スポーツ観戦を楽しみます。温暖な気候のおかげで、水中スポーツを含め、年間を通して、様々なスポーツを楽しむことができます。

そんなオーストラリアで、国技とも言える競技は、オージー・ルールズ、フットィの呼び名で親しまれている「オーストラリアン・ルール・フットボール」。競技はオーヴァルと呼ばれる楕円形の大きなグラウンドで行われ、各チーム18名で競います。



こちらの動画では、このほかに「テニス」「ウェイト・リフティング」「ネットボール」「セーリング」といった人気の競技を紹介しています。

スポーツ紹介の動画（約6分） <https://australly.jp/learn/sports-video>



最後に、オーストラリア式の声援の送り方をお伝えします。

「オジ、オジ、オジ！ オイ、オイ、オイ！ （Aussie, Aussie, Aussie! Oi, Oi, Oi!）」
オーストラリアの選手をTVで見つけたら、この掛け声で応援してくださいね。

応援方法の動画（約20秒） <https://australly.jp/learn/cheer-for-aussie-players>



東京2020大会に向けたオーストラリア大使館や本国の活動

「AUS+RALLY」日豪スポーツ外交キャンペーン

「AUS+RALLY」（オーストラリー）は東京2020大会に向け、オーストラリアと日本両国が共有するスポーツへの情熱やスポーツが生み出す価値やつながりを称え、スポーツをきっかけに、まだ知らないオーストラリアの魅力を日本の皆さんに紹介するオーストラリア大使館によるスポーツ外交キャンペーンです。オーストラリアのオリンピック・パラリンピック両委員会と連携し、オーストラリアのホストタウンやオーストラリアと交流のある自治体や団体にも活動の輪が広がっています。

AUS+ RALLY

AUS+RALLYのウェブサイト（<https://australly.jp/>）では活動の詳細や主に学校を対象に大会期間中や前後に役立つリソースを載せているのでぜひご覧ください。

(前ページからの続き)

「オーストラリア・オリンピック・コネクト | ともだち2021」プログラム

オーストラリアオリンピック委員会と連携して進める「オーストラリア・オリンピック・コネクト | ともだち2021」は、オーストラリアの学校とオリンピック開催国・日本の学校を結ぶ教育交流プログラムで、両国の学校が交流する機会を提供しています。2020年に成功したパイロットプログラムに続いて、「ともだち2021」には、両国の学校計600校以上が参加中です。



このプログラムを通してオーストラリアの生徒がオンラインで東京を含む日本の生徒と関係を発展させていくのを楽しみにしています。

今後の取り組み

国民がスポーツを愛し、国際的なスポーツイベントを経験してきたオーストラリアは、2032年のオリンピック・パラリンピックの開催国として立候補しています。

場所は、オーストラリア東海岸のクィーンズランド州。州都ブリスベンだけではなく、サンシャインコースト、ゴールドコーストなども含む同州南東部広域での開催を予定しています。

正式な発表は東京オリンピック2020開催直前の2021年7月21日です。開催地の早期決定により、オリンピック前後10年を含めた包括的な計画を描き、ブリスベン2032は持続可能で、クライメート・ポジティブ、アスリート中心のオリンピックを目指します。

2032年にブリスベンでの開催となれば、オーストラリアでの開催は1956年のメルボルン大会、2000年のシドニー大会に続き、3度目となります。

時差も少なく、日本からも行きやすいクィーンズランド州で、一緒にスポーツを盛り上げていけるとよいですね！



大会を心待ちにしている子供たちへ！

いよいよ東京2020が始まります。様々な困難を乗り越えて、オーストラリアの選手も東京を目指してきました。東京2020で活躍しているオーストラリアの選手を見るのが皆さまにとってよい刺激となるでしょう。

今回の大会で、みなさんが直接選手と触れ合う機会は限られているかもしれませんが、でも長年培ってきた日本とオーストラリアの友情を、オンラインなどでさらに深める素晴らしい機会となるでしょう。お互いの国のことを知り、交流をすることによってできる新たな繋がりが東京2020のレガシーとなることを期待しています。

こちらのニュースレターはウェブで見ることができます！
他の国からのメッセージも掲載していますので是非ご覧ください！

オリンピック・パラリンピック準備局HP（ホームページ）

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijunbi/kanren/embassies/index.html>

